

令和4年度「みらいの学び推進事業」実践モデル校
令和4年度 阿久根市道徳教育研修会

公開授業学習指導案



令和5年2月2日（木）
阿久根市立脇本小学校

第4学年道徳科指導案

令和5年2月2日（水）5校時

阿久根市立脇本小学校4年 25人

指導者 教諭 今柳田 優芽

1 主題名 ボランティアとは B-（6）親切，思いやり

教材名 「ええことするのは，ええもんや！」 【小学道徳 生きる力4】（日本文教出版）

2 主題について

(1) 価値及び指導について

本主題は，学習指導要領道徳科の内容項目 B-（6）「相手のことを思いやり，進んで親切にすること。」を深めることを意図したものである。これは，低学年の内容項目 B-（6）「身近にいる人に温かい心で接し，親切にすること。」を受け，さらに高学年の内容項目 B-（7）「誰に対しても思いやりの心を持ち，相手の立場に立って親切にすること。」へと発展していく。また，中学校の内容項目 B-（6）「思いやりの心をもって人と接するとともに，家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し，進んでそれに応え，人間愛の精神を深めること。」につながるものである。

自分のことばかりを考えたり，自分の思いだけを主張したりしては，望ましい人間関係を構築することはできない。互いが相手に対して思いやりの心をもって接するようにすることが不可欠である。思いやりとは，相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り，相手に対してよかれと思う気持ちを向けることである。そのためには，相手の存在を受け入れ，相手のよさを見出そうとする姿勢が求められる。具体的には，相手の立場を考えたり相手の気持ちを想像したりすることを通して，励ましや援助をすることである。また，単に手を差し伸べるだけでなく，時には相手のことを考えて温かく見守ることも親切な行為としての表れである。相手のことを親身になって考えようとする態度を育てることが期待される。

特に学校生活においては，教師や友達などの様々な人と直接的に多様な関わり合いをもてるようにすることが求められる。その上で，相手の立場を考えたり，相手の気持ちを思いやったりすることを通して，思いやりや親切な行為の意義を実感できる機会をつくっていくことが重要である。

中学年の児童は，友達だけでなく，様々な人との関わりが広がってくる。困っている相手を励ましたり，手を差し伸べたりするなど温かな心をもって親切にする場面も見られるようになる。褒められたい，認められたいといった自分自身への対価を求めてではなく，真に相手のことを思いやった行動をとれるようにすることが重要である。相手の困難さや悩みを自分のこととして感じ取り，進んで親切にしようとする態度を養っていききたい。

指導に当たっては，相手の置かれている状況，困っていること，大変な思いをしていること，悲しい気持ちでいることなどを自分のこととして想像することによって，相手のことを第一に考え，親切な行為を自ら進んで行うことができるようにしていくことが大切である。

(2) 教材について

本教材は，学校からの帰り道，車いすで立ち往生している人を見かけた「ぼく」が助けてあげるが，大変なあまり，途中でやめたくなくなってしまう話である。困っている様子を見かねた「ぼく」は，一人で車いすを押すことにする。車いすを押していることを励まされたり，褒められたりしているときはいい気分だったが，誰も見てくれることなく坂道を進むとき，車いすは思った以上に重く，途中でくじけそうになる。しかし，友達の助けを得て，親切な行為について考え直す。「ぼく」は，親切にしている姿を周りの人から褒められたり励まされたりすることに喜びを感じていたが，途中で困っている人の思いを考えて行動することこそが親切だと気付く。この場面を中心的に考えることで，親切な行為を進んで行うことのよさを実感できるようにする。

3 児童の実態・考察

ア 道徳的価値との関連について（アンケート実施日：令和4年10月13日(木) 調査人数：25人）

① 親切にしたことはありますか。	
・ ある（21人）	・ ない（4人）
② どんな親切をしましたか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れ物をした友達に貸した（12人） ・ 教室や校庭，地域のごみを拾った（2人） ・ 落ちている物を拾った（2人） ・ けがをした友達を保健室へ連れて行った（2人） ・ 悲しんでいるときに話しかけた（2人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荷物を持ってあげた（1人） ・ 大変そうな人がいたら手伝ってあげた（1人） ・ 友達の悩み事を聞いた（1人） ・ 忙しい人の手伝いをした（1人） ・ 生き物を大切にしたい（1人）
③ 親切にしたとき，どんな気持ちでしたか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 嬉しい（11人） ・ 親切にしてよかった（3人） ・ やってあげないとかわいそう（2人） ・ 達成感（1人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スカッとした気持ち（1人） ・ 私親切だな（1人） ・ 楽しい（1人） ・ 大丈夫だよ（1人）
④ 親切にされたことはありますか。	
・ ある（22人）	・ ない（3人）
⑤ 親切にされたとき，どんな気持ちでしたか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 嬉しい（10人） ・ ありがとう（9人） ・ 心が温まる（1人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感謝（1人） ・ なんて親切にしてくれるのだろう（1人）

①の結果から，本学級の8割の児童が今までに親切にした経験があることが分かる。②では，困っている友達を助けてあげたり，学校や地域のために自分にできることを探して実行したりと，友達や学校生活の身近な生活場面の中で，親切な行為を行ったことが多い。③からは，そのときの気持ちを，「相手が喜んでくれて嬉しい」「やってあげないとかわいそう」のように相手を思いやる気持ちと，「私親切だな」「達成感」「スカッとした気持ち」など自分が親切にした行為が自分自身に対して快い感情を抱くという2つに分類することができる。④では，9割の児童が親切にされた経験があることが分かった。⑤からは，「ありがとう」と感謝の気持ちをもったり，「嬉しい」と心が温まるような気持ちになったりしたことが分かる。質問①，④から，親切にされた経験がある児童は，親切にされたときの気持ちが分かるからこそ，困っている人がいたら助けてあげようと親切な行為するのではないかと考えられる。そこで，本時のまとめとして，よりよい親切をするにはどんな気持ちが大切か考える際に，これまでの経験を思い出させていきたい。

イ 本校の研究テーマとの関連について（アンケート実施日：令和4年12月6日 調査人数：25人）

① 道徳の学習でどんな活動が好きですか。【複数選択】	
ア 登場人物の気持ちを考える（11人）	オ 自分のことをふりかえる（2人）
イ 自分の考えを発表する（5人）	カ タブレットを使う（13人）
ウ 友達の考えを聞く（13人）	キ ない（1人）
エ グループでお互いの考えを伝え合う（8人）	ク その他（0人）
② ①で選んだ理由を書きましょう。	
ア 登場人物の気持ちを考える <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の気持ちを考えるのが楽しいから イ 自分の考えを発表する <ul style="list-style-type: none"> ・ 拍手されるのが嬉しいから ウ 友達の考えを聞く <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達に聞いたら意見がたくさん集まるから ・ 自分で発表することや言うのが苦手だから ・ 聞いて自分の考えの参考にできるから ・ 友達がどう思っているのか知れるから 	オ 自分のことをふりかえる <ul style="list-style-type: none"> ・ 「今度からはこうしよう」と思えるから カ タブレットを使う <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットの方がスムーズに文字が打てるから ・ 発表するのが苦手だから ・ 友達の考えを共有できるから ・ 共有ノートや提出箱で友達がどう思っているのか知れるから

<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えだけでなく、友達の考えも知りた いから 	<ul style="list-style-type: none"> みんなの意見が分かりやすいから タブレットを使うのが得意だから
エ グループでお互いの考えを伝え合 う	キ ない
<ul style="list-style-type: none"> みんなの意見が聞けるから 	<ul style="list-style-type: none"> 特に好きというのがないから
③ 友達の考えを聞いたり、自分の考えと比較したりすることは好きですか。	
<ul style="list-style-type: none"> 好き (20人) 	<ul style="list-style-type: none"> きらい (5人)
④ ③の理由を書きましょう。	
【好き】 <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと比べて違う考えだったら、どうしてそうなったのか話し合えるから 「なるほど」と思うかもしれないから 自分の考えと違う考えが見つかるから 他の人はどんな考えなのか気になるから 友達の考えを聞いて自分の考えが変わることがあるから 自分の考えと違う考えもあるかもしれないから 新しい考えがあるかもしれないから 	【きらい】 <ul style="list-style-type: none"> 人と比べるのが苦手だから 人と比べるのが嫌いだから 友達の考えを聞いても自分の考えは変わらないから
⑤ 伝え合う学習活動で好きな活動は何ですか。(自分の考えが伝えやすい活動は何ですか。)	
【複数選択】	
ア タブレットを使って考えを共有する (18人)	エ 全体で発表し合う (4人)
イ ペアで伝え合う (3人)	オ ない (2人)
ウ グループで伝え合う (5人)	カ その他 (0人)
⑥ ⑤で選んだ理由を書きましょう。	
ア タブレットを使って考えを共有する <ul style="list-style-type: none"> スムーズに打てるから タブレットで共有したら友達の考えが分かりやすいから 人前で発表しなくてすむから みんなの意見を見ることが出来るから タブレットだと自分の口で言えないことがたくさん言えるから 発表が苦手だから どんな考えなのか分かりやすいから 友達と直接話すのが苦手だから たくさんの人に意見を伝えたいから みんなの意見が聞けるから 共有すればたくさんの人々の考えが知れるから たくさんの人に自分の意見を伝えたいから 	イ ペアで伝え合う <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を伝えたいから 恥ずかしがらずに伝えることができるから ウ グループで伝え合う <ul style="list-style-type: none"> どんな意見なのか考えやすいから 自分の意見を伝えたいから 恥ずかしがらずに伝えることができるから エ 全体で発表し合う <ul style="list-style-type: none"> 伝え合った方がいいと思うから 自分の意見を伝えたいから みんなの意見が聞けるから オ ない <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝えるのが難しいから

①より、友達の考えを聞く活動とタブレットを使う活動が好きな児童が多いことが分かる。友達の考えを聞く活動が好きな理由もタブレットを使う活動が好きな理由も、「自分の考えだけでなく、友達の考えを知りたいから」「友達の考えを共有できるから」などと似ていることが分かる。一方、「発表することが苦手だから」という意見も挙げられた。このことから、友達と自分の考えと共有したい気持ちはあるが、全体で発表するのが苦手であるため、考えを共有する手段としてタブレットを活用することが効果的であると考えられる。③からは、8割の児童が友達の考えを聞いたり、自分の考えと比較したりすることが好きであることが分かる。より多くの考えを聞いたり、比べたりすることができるようにするためにもタブレットの活用が効果的である。⑤、⑥からも「タブレットで共有したら友達の考えが分かりやすい」、「発表が苦手だから」という理由で、タブレットを使って考えを共有する活動が好きな児童が多い。そこで、考えを共有する活動では、タブレットを活用していきたい。

3 本時

(1) ねらい

- ア 人に親切にすることは立派なことだが、それだから親切にするのではなく、助けられた人がうれしいから親切にするのだということに気付き、進んで親切にしようとする態度を養う。【道徳科のねらい】
- イ 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができる。【研究テーマのねらい】

(2) 指導上の留意点

ア 導入

実態調査の結果を基に導入を展開していく。実態調査の結果を大型テレビを使って提示し、親切にしたときの気持ち、親切にされたときの気持ちをそれぞれ考えさせる。教材と似た経験を想起させ、今まで親切だと思っていたことが本当に相手のための親切だったかどうか葛藤を感じさせながら問題意識をもたせる。

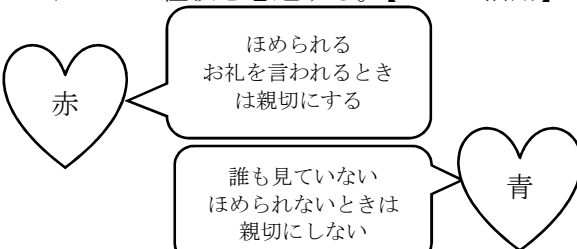

イ 展開

主人公の気持ちをより自分事として考えられるように、自分だったらどうするかという発問を取り入れる。その際には、ロイロノートで自作のシンキングツール（座標軸）を活用して共有し、自分だけでなく、友達の考えも可視化し、一目見て分かるようにするとともに、自分の考えとは異なる立場の考えの友達と対話ができるような時間を設定する。また、ロイロノートの共有ノートを活用して友達の考えを画面上でたくさん知ることができるというよさと、黒板のネームプレートを使って微妙な気持ちの位置を意思表示できるというよさを融合させた授業を展開していく。

ウ 終末

脇本タイムでは、本時で学習して感じたことを振り返り、これからどうしていきたいかを考えさせる。その際に、事前アンケートで振り返った今までの自分と比べて振り返らせることで、より自分の生活と結び付けさせる。また、学習を通して、どのようなことを学び、今後に生かしていくかを共有させるために、ロイロノートを活用する。さらに、学校生活の中で見つけた親切な姿を紹介することで、これからの生き方に生かしていこうとする態度を養う。

(3) 実際

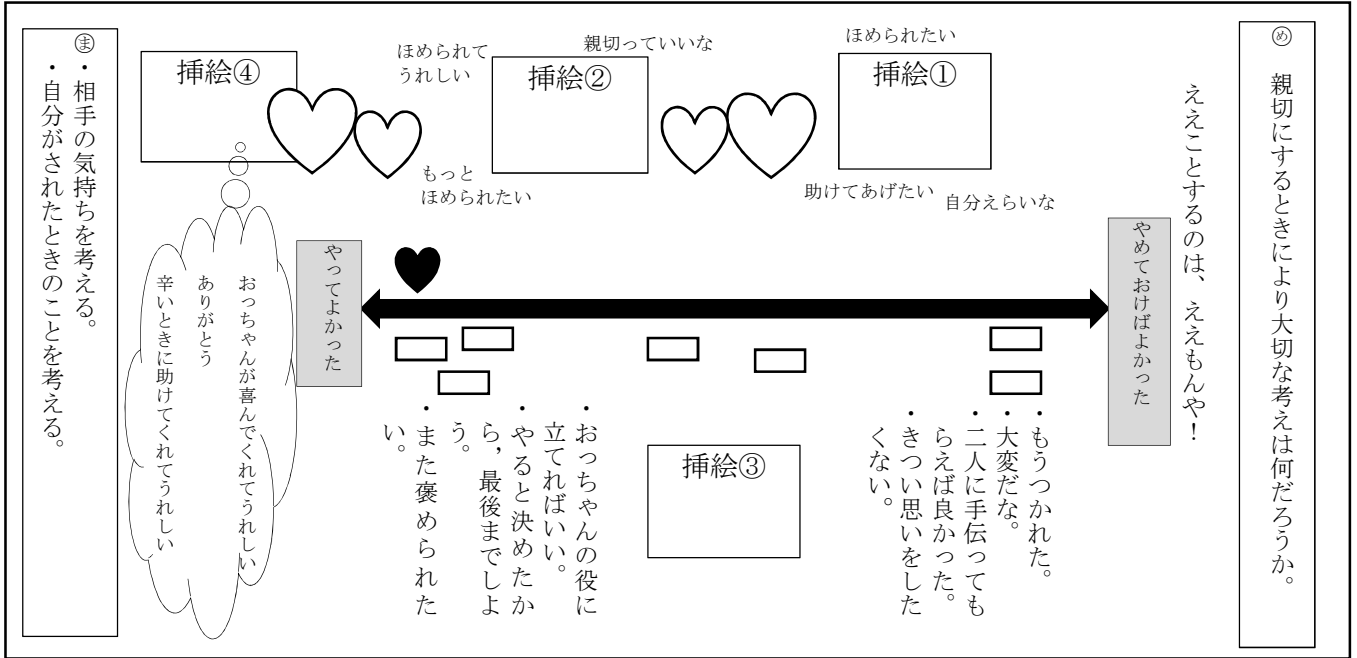
過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点 ※ 対話活動の充実を図る場面 ☆ 評価
導入	<p>1 これまでの経験を想起する。【ICT活用】</p>  <p>2 本時のめあてをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>親切にするときに、より大切な考えは何だろうか。</p> </div>	5	<p>○ 自分たちの考えを客観的に確かめ、本時のめあてへと焦点化させるために、クラスの実態を提示する。</p> <p>○ 親切にしたとき褒められたいという理想と、誰も見ていないときの気持ちのギャップに気付かせるために、心のバロメーターを活用し、問題意識をもたせる。</p> <p>○ シンキングツール（同心円）を活用することで、親切とはどういうものであるのか位置付けの確認をする。</p>
展開	<p>3 教材「ええことするのは、ええもんや！」について話し合う。【ICT活用】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>○ マナブはどんな気持ちでおっちゃんを助けたでしょう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困っているから助けてあげよう。 ・ 自分はえらい。 ・ 助けてあげるのは当たり前。  </div>	8	<p>○ 内容を理解しやすくするために、挿絵を使って大まかな内容や設定について説明するようにする。</p> <p>○ 座標軸を活用することで、困っているおっちゃんを助けてあげたマナブが「やってよかった」と思っていることに気付かせる。</p>

<p>展開</p>	<p>○ 通りすがりの人に励まされているときマナブはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・ みんなに見てほしい。 ・ もっと褒められたい。</p> <p>◎ 自分だったら、誰も見てくれていない坂道を進むときどんな気持ちでしょう。</p> <p>【ICT活用】【対話活動】 (やってよかった⇔やめておけばよかった)</p> <p>・ おっちゃん役に立てればいい。 ・ やると決めたから、最後までしよう。 ・ また褒められたい。</p> <p>・ 褒めてもらえないから。 ・ 二人に手伝ってもらえば良かった。 ・ きつい思いをしたくない。 ・ 大変だ。</p> <p>～対話の視点～</p> <p>・ なぜそう考えたのか理由を聞く。 ・ もっと詳しく知りたいことを聞く。</p> <p>○ マナブの気持ちが、さらに「やってよかった」に変わったのはどうしてでしょう。</p> <p>・ 辛いときに二人が助けてくれたから。 ・ おっちゃんが喜んでるから。 ・ つらいときに助けてくれたから。</p> <p>4 親切にするときに、より大切な考えが何か考がえる。 【ICT活用】</p> <p>・ 相手の気持ちを考える。 ・ 自分がされたときのことを考える。</p>	<p>○ 児童の発言から、マナブは通りすがりの人に励まされているときは「やってよかった」という気持ちであることに気付かせるために、座標軸を活用する。</p> <p>○ 誰も見てくれていない坂道を進むときの気持ちが「やってよかった」、「迷う」、「やめておけばよかった」を明確にした上で、ロイロノートのテキストに気持ちを書き込ませる。</p> <p>○ 誰も見てくれることなく坂道を進むときの気持ちが座標軸のどこに位置するか一目で分かるように、ロイロノートで赤（やってよかった）・白（迷う）・青（やめておけばよかった）いずれかのボックスに移動し、意思表示させる。</p> <p>※ 多様な考えに触れさせるために、自分と異なる考えの友達に詳しく話を聞いたり、質問をしたりなどの対話の視点を提示する。</p> <p>☆ 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができたか。 【発言】</p> <p>○ 周りの人のことを考えたマナブの気持ちに気付かせるために、友達が助けてくれた場面やおっちゃんが喜んでる場面の挿絵を提示して考えさせる。</p> <p>☆ 助けられた人が嬉しいから親切にするのだということに気付くことができたか。 【ロイロノート・発言】</p> <p>○ 自分のためにやっていた親切ではなく、相手のためを思っていることが大切であることに気付かせるために、親切にしたマナブの最初の気持ちと最後の気持ちはどこが違うのかを考えさせる。</p> <p>○ まとめにつながるように、道徳的価値に関わる言葉で板書を整理する。</p> <p>○ シンキングツール（同心円）を活用することで、親切とはどういうものであるのか位置付けの確認をする。</p> <p>○ 授業を通して自分の気持ちの変容を見取るために、導入時に活用した心のバロメーターで変容を確認する。</p>
<p>終末</p>	<p>5 これまでの自分の生活を振り返り、これからの生き方について考える。 【ICT活用】【協本タイム】</p> <p>今までは、認められなくて親切にしていたけど、これからは、相手の気持ちを考えて親切にしていきたい。</p> <p>6 教師の説話を聞く。</p>	<p>○ 振り返りを友達と共有させるため、ノートに書いたものを撮影し、ロイロノートで共有する。</p> <p>☆ 学習したことを通して、これまでの自分を振り返り、これからはどうしていくか考えることができたか。 【ノート・発表】</p> <p>○ 教師が見つけた児童が誰も見ていないところでやっている親切を紹介し、これからの生活に生かせるよう意欲を高める。</p>

(4) 評価

- ア 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができたか。
- イ 助けられた人が嬉しいから親切にするのだということに気付くことができたか。
- ウ 学習したことを通して今までの自分を振り返り、これからはどうしていくか考えることができたか。

(5) 板書計画



第6学年道徳科指導案

令和5年2月2日(木) 5校時
阿久根市立脇本小学校6年 計34人
指導者 教諭 辻 拓也

- 1 主題名 広く受け入れる心 B-(11) 相互理解, 寛容
教材名 「ブランコ乗りとピエロ」 【小学道徳 生きる力6】(日本文教出版)

2 主題について

(1) 価値及び指導について

本主題は、学習指導要領道徳科の内容項目B-(11)「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」に関するものである。これは、中学年の「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。」を受け、さらに中学校の「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」に発展するものである。

自分の考えや思いを相手に伝えるとともに、自分と異なる考えや思いを受け止め、相手への理解を深めることで、人間関係を深めていくことができる。しかし、私たちは、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自分本位に陥りやすい弱さをもっている。自分自身が発展途上にあり、至らなさをもっていることなどを考え、自分を謙虚に見ることについて考えさせることが大切である。相手から学ぶ姿勢を常にもち、自分と異なる意見や立場を受けとめることや、広い心で相手の過ちを許す心情や態度は、多様な人間が共によりよく生き、創造的で建設的な社会をつくっていくために必要な資質・能力である。

高学年の段階においては、自分のものの見方や考え方について認識が深まることから、相手のものの見方、考え方との違いをそれまで以上に意識するようになる。また、この時期には、考えや意見の近い者同士が接近し、そうでない者を遠ざけようとする行動が見られることがある。そのような時期だからこそ、相手の意見を素直に聞き、なぜそのような考え方をするのか、相手の立場に立って考えようとする態度を養っていききたい。

指導に当たっては、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することで、違いを生かしたよりよいものが生まれるといったよさや、相手の過ちなどに対しても、自分にも同様のことがあることとして、謙虚な心や広い心で受け止め、適切に対応できるように指導することが大切である。

(2) 教材について

本教材では、サーカスをまとめるリーダーのピエロと花形スターのサムが対立するが、最後には理解し合う姿が描かれている。ピエロとサムは、1時間という制限の中で、大王にサーカスの演技を見てもらうことになった。当日、サムの演技が延長し、ピエロは大王の前で演技ができなかった。ピエロは、日頃からサムのわがままな言動に対して腹を立てていたが、演技や演技後のつかれ果てた姿を思い出しているうちに、サムをにくむ気持ちが消えていく。そして、サムのことを受け入れて自分の思いを伝える。最終的には、サムもピエロを受け入れ、互いに認め合う関係になるという話である。この場面を中心的に考えることで、自分と異なる考えや意見を尊重することの大切さに気付かせるようにする。

(3) 児童の実態・考察

ア 道徳的価値との関連について (アンケート実施日：令和4年10月25日(月) 調査人数：31人)

① あなたは、他の人と関わる中で、「自分と意見が合わない」と思ったことがありますか。	
・ よくある(6人) ・ ときどきある(20人)	・ あまりない(4人) ・ ほとんどない(1人)
② あなたは、自分と意見が合わない人に対して、どんなことを思いますか(感じますか)。	
・ そのような意見(考え)もあるのだな(11人) ・ 人それぞれ考えは違うのだな(4人)	・ なんでそうなるのかな(4人) ・ 自分が相手に合わせよう(1人) ・ どうしたら意見がまとまるかな(1人)
③ あなたは、自分の意見が受け入れられなかったとき、どのような気持ちになりますか。	
・ よい気持ちになる(1人) ・ まあまあよい気持ちになる(6人)	・ あまりよい気持ちにならない(18人) ・ よい気持ちではない(4人) ※ 無回答(2人)
④ ③のような気持ちなる理由を書きましょう。	
・ 決められたからそれでよい(1人) ・ まだ自分の主張が足りない(1人) ・ 他の人の意見が分かる(1人) ・ いろいろな理由がある(1人)	・ 悲しい、不満、いやな気持ち(11人) ・ 自分の方がよい(4人) ・ なんでだろう(2人)
⑤ あなたは、最初は相手の意見が受け入れられなかったが、途中から受け入れられるようになった経験がありますか	
・ ある(15人)	・ ない(15人) ※無回答(1人)
⑥ ⑤で「ある」を選んだ人は、なぜ途中から受け入れられるようになったのか理由を書きましょう。	
・ 納得できた(5人) ・ そっちの方がよいと思った(2人) ・ 説得力があった(2人)	・ 説明を聞いて分かった(1人) ※ 無解答(5人)

①より、本学級の8割以上の児童が、自分と意見が合わないと感じる体験をしたことがあることが分かる。②より、意見が合わない人に対しては、共感的に受け入れたり、自分と相手は違うと納得したりしている児童が多いと言える。一方で、少数だが、相手に対して納得できないと感じる児童もいることが分かる。③では、自分の意見が受け入れられなかったときの気持ちについて質問したところ、7割ほどの児童が、よい気持ちではないと答えている。理由としては、悲しみや怒りの感情についての回答が多く見られた。

これらのことから、自分と意見の合わない相手に対しては、不満を感じながらも、そのような考えもあるのだと受け止め、納得しようとしているのではないかと考えられる。相手の意見を受け入れようとする姿勢はよい姿勢だと言えるが、本当は納得できていないが話し合うことを避けて通ろうとしているのではないとも考えられる。自分の意見を伝えずに一方的に相手の意見に合わせるだけでは、本当の意味で互いが理解し合うことができないと考える。⑤・⑥より、相手の意見を途中から受け入れられた児童が半数ほどいることが分かる。相手と話し合う中で本当に納得できたときこそ、互いに満足した気持ちになるのではないかと考えられる。そこで、自他の思いや考えの相違を乗り越え、相手と相互に理解しようとするこのよさに気付けるようにしていきたい。

イ 本校の研究テーマとの関連について (アンケート実施日：令和4年12月7日(水) 調査人数：31人)

① 道徳の学習では、どんな活動が好きですか。【複数選択】	
ア 登場人物の気持ちを考える(8人)	オ 自分のことを振り返る(6人)
イ 自分の考えを発表する(3人)	カ タブレットを使う(13人)
ウ 友達の考えを聞く(12人)	キ ない(5人)
エ グループでお互いの考えを伝え合う(5人)	ク その他(1人)
② ①で選んだ理由を書きましょう。	
ア 登場人物の気持ちを考える ・ 登場人物の考えを考えるのが好き ・ 自分との接点を見つけることが楽しい ・ いろいろな視点で見られる	オ 自分のことを振り返る ・ これまでやこれからを考えることは、よいことだと思う ・ これから気を付けたいことに気付ける ・ 自分の考えを書くことで達成感が出る
イ 自分の考えを発表する	カ タブレットを使う

<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達に分かってもらえるとうれしい ・ 拍手されたり先生にほめられたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい ・ 共有したときに他の意見も見られる ・ 共通点や違う点を理解することができる
ウ 友達のを考えを聞く <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞くといろいろな考えが分かる ・ 自分の考えとどれだけ違うのかが分かる ・ 自分の考えや意見を考えるのが苦手 	キ ない <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦手 ・ 考えるのが難しい
エ グループでお互いの考えを伝え合う <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで話すといろいろな意見が出る ・ 人の考えと他の考えを知りたい 	ク その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 読むのが好き
③ 友達のを考えを聞いたり、自分の考えと比べたりすることは好きですか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 好き(18人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嫌い(10人) ※ 無回答(3人)
④ ③の理由を書きましょう。	
【好き】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じところと違うところ分かる ・ いろいろな考えが分かる ・ 自分が気付けなかったことに気付ける ・ 参考になる ・ 意見を聞く方が好き 	【嫌い】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 違うと言われそう ・ 苦手 ・ 何をすればよいか分からない ・ 好きと嫌いの間(どちらでもない)
⑤ 伝え合う学習活動で好きな活動は何ですか。(自分の考えが伝えやすい活動は何ですか。) 【複数選択】	
ア タブレットを使って考えを共有する(18人)	エ 全体で発表し合う(4人)
イ ペアで伝え合う(6人)	オ ない(6人)
ウ グループで伝え合う(11人)	カ その他(0人)
⑥ ⑤で選んだ理由を書きましょう。	
ア タブレットを使って考えを共有する <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなの前で発表するより、タブレットで考えを共有し合う方が考えを伝えやすい ・ 声に出して発表することがやりづらい人などでも発表することができる ・ 名前が出ないから恥ずかしがらずに自分の考えを打てる(伝えられる) ・ いろいろな人の考えが分かる ・ 楽しい 	ウ グループで伝え合う <ul style="list-style-type: none"> ・ 大人数だったら緊張するけど、グループだと緊張しないし、複数(2~4人)の考えも分かる ・ あまり多くの人と前で話さない ・ みんなの前で発表することは苦手だから、グループの人に伝える方が得意(好き) ・ いろいろな人の考えが分かる
イ ペアで伝え合う <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなの前で発表するより、ペアで考えを共有し合う方が考えを伝えやすい ・ あまり多くの人と前で話さない ・ いろいろな人の考えが分かる 	エ 全体で発表し合う <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する力がつく ・ いろいろな人の考えが分かる
	オ ない <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表が嫌い(好きではない) ・ 苦手

①・②より、タブレットを使う活動が好きな児童が最も多いことが分かる。理由としては、タブレットを活用することで、共有して友達の意見を見たり、共通点や相違点を理解したりすることができることを挙げている。また、活動自体が楽しいと感じている児童もいる。次に、友達の考えを聞くことが好きな児童が多い。理由としては、友達の考えを聞くことでいろいろな考えが分かることを挙げている。自分と比較して共通点や相違点を知ることができることも選んだ要因と言える。グループでお互いの考えを伝え合うことを選んだ児童も、多様な考えに触れたり、自分と比較したりすることを好きな理由として挙げていることが多い。一方で、自分の考えを発表する活動を選んだ児童が少なかったことから、大勢の人の前で発表させるよりも、タブレットの活用や少人数での活動を通して意見を伝え合わせる方が本学級の実態に合っていると言える。③・④からも、友達の考えを聞いたり自分の考えと比べたりすることが好きな児童が多いことが分かる。一方で、違うと言われることに不安を感じていたり、苦手だと思っている児童がいたりすることから、安心して伝え合う環境をつくり出す必要があると言える。⑤・⑥の結果は、①・②の結果と重なるところが多い。本学級の実態として、全体で発表する活動を増やすよりも、タブレットを活用したり、ペアやグループなどの少人数で意見を伝え合わせたりの方が効果が上がるのではないかと考えられる。そこで、タブレットを活用して考えを整理させたり、ペアやグループでの対話の機会を設定したりすることで、自信をもって自分の考えを深めることができるようにしていきたい。

3 本時

(1) ねらい

- ア ピエロの心の中からサムを憎む気持ちが消えた理由について考えることで、自分と異なる考えや意見を尊重し、大切にしていこうとする態度を養う。【道徳科のねらい】
- イ 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができる。【研究テーマのねらい】

(2) 指導上の留意点

ア 導入

実態調査の結果を大型テレビに提示し、視覚的に学級の実態を捉えられるようにする。生活の中では他者と意見が合わない場面が多くあり、相手の考えを受け入れることは簡単ではないことに気付かせることで、問題意識をもたせる。

イ 展開

ピエロの心の中からサムを憎む気持ちが消えた理由を考えさせることで、相手の考えを受け入れるために大切なことについて考えられるようにする。その際、自分だったら憎む気持ちが消えるかどうか考えさせることで、ピエロの心に変化を与えたことや相手を受け入れることの難しさに気付かせるようにする。また、対話活動が充実するように、ロイロノートのシンキングツール(バタフライチャート)を活用して意見を共有させたり、「グループ活動の進め方」を使って自信をもって自分の意見を伝えさせたり、友達の意見のよさに気付かせたりしていく。

ウ 終末

脇本タイムでは、本時の学習を通して学んだことや感じたことを振り返り、これからどのようにしていきたいか考えさせる。その際、道徳ノートに書いたものを撮影し、ロイロノートで共有させることで、書くことが苦手な子が参考にできるようにする。また、教師の説話で、相手の考えを受け入れることの難しさやよさを伝えることで、これからの生活に生かしていこうとする実践への意欲を高めるようにする。

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点 ※ 対話活動の充実を図る場面 ☆ 評価
導入	1 これまでの経験を想起する。【ICT活用】 2 本時のめあてをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 自分と意見や考えが合わない人の考えを受け入れるには、どのような考えが大切だろうか。 </div>	5	○ 実態調査を基に、生活の中では他者と意見が合わない場面が多くあることや自分の意見が受け入れられなかったときの嫌な気持ちを想起させる。 ○ 相手の考えを受け入れることの難しさに気付かせ、めあてを設定する。
展開	3 教材「ブランコ乗りとピエロ」を読み、話し合う。 (1) 初日と最終日の「サーカスの大成功」には違いがあるか考えながら教材を読む。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 初日のサーカスは成功したけど、怒っている場面が多く、雰囲気が悪いように感じる。 最終日は、控え室が団員たちの明るい笑い声に包まれているところから、よい雰囲気になったと思う </div> (2) 初日と最終日の登場人物の気持ちの変化に、最も影響を与えた場面を考える。	8	○ 内容を理解しやすくするために、事前に教科書を読ませたり、設定等をまとめたテキストをロイロノートで送ったりする。 ○ 「初日と最終日のサーカスの大成功には違いがあるのか」という視点を示してから教材を読ませることで、登場人物の気持ちの変化に気付かせるようにする。 ○ 登場人物の気持ちを視覚的に表すために、表情絵を選ばせる。初日は、全ての登場人物にとって不満の残るものであるが、最終日になると前向きな気持ちに変化していることに気付かせるようにする。特に、ピエロのサムへの怒りや悔しさに気付かせるようにする。 ○ 話合いの必然性をもたせるために、初日と最終日の登場人物の気持ちの変化に最も影響を与えたのがどの場面か考えさせる。

<p style="text-align: center;">(3) 中心発問について考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">◎ ピエロの心の中からサムをにくむ気持ちが消えたのは、なぜだろう。</p> </div> <p style="text-align: center;">【ICT活用】【対話活動】</p> <p style="text-align: center;">＜自分だったらどうなるか考える＞</p> <p style="text-align: center;">憎む気持ちが「消える」</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ サムががんばっていたから ・ 観客のために必死になっていたから </div> </div> <p style="text-align: center;">憎む気持ちが「消えない」</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px; margin-right: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分勝手は許されない ・ 演技を見せられなくて悔しい </div> </div> <p style="text-align: center;">＜ピエロの心の中からサムを憎む気持ちが消えた理由を考える＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ サムが努力をしていたことを知った（努力） ・ 自分も目立ちたい気持ちがあった（まちがいを認める） ・ サムの気持ちを考えず態度で悪者にした（決めつけ） ・ サムを見習いたい（尊敬） ・ サムのよさを生かすことでよりよいサーカス団になる（協力・目標） </div>	<p style="text-align: center;">4 自分と意見や考えが合わない人の考えを受け入れるには、どのような考えが大切か話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のことを知ろうとすること ・ 相手のよさを見つけること ・ たがいのよさを生かすことで、よりよいものが生まれるということ ・ 自分の考えを優しく伝えること </div>	<p style="text-align: center;">18</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分事として考えさせるために、自分がピエロだったらサムを憎む気持ちが「消える」か「消えない」か考えさせ、ロイロノートのテキストを提出させる。その際、「消える」はピンク、「消えない」は青、「迷っている」は白を選ばせるようにする。 ○ 選んだ理由を自由に対話する時間を設定する。 ○ 「消えない」の理由を取り上げて、ピエロの怒りの大きさに気付かせる。 ○ ピエロの心の変化について考えさせるために、全員に「消える」の理由を考えさせる。 ※ 他者の考えを参考にしながら自分の考えをより明確にさせるために、共有状態にしたり、必要に応じて、対話の時間を確保したりするようにする。 ※ サムを憎む気持ちが消えた理由を深く考えさせるために、グループで対話をさせながらバタフライチャートに整理させ、提出させる。その際、最もこの場面に適しているという理由を端に移動させる。必要に応じて、「グループ活動の進め方」を活用させる。 ☆ 友達の考えも参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができたか。 <p style="text-align: center;">【ロイロノート・発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 提出後のバタフライチャートを基に意図的に指名したり、問い返しの発問をしたりしながら、道徳的価値に迫れるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ がんばりを見たら憎しみは消えるの？ <p style="text-align: center;">4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まとめにつながるように、板書した意見を道徳的価値に関わる言葉で整理する。 ☆ 今まで受け入れられなかった相手の考えや行動を理解し、相手の思いやよさに気付くことができたか。【ロイロノート・発言】 ○ 相手の考えを受け入れるだけでなく、自分の考えを伝えることも大切であることにも気付かせるようにするために、必要に応じて問い返しの発問をする。
<p style="text-align: center;">5 これまでの自分の生活を振り返り、これからの生き方について考える。</p> <p style="text-align: center;">【ICT活用】【脇本タイム】</p> <p style="text-align: center;">6 教師の説話を聞く。</p>	<p style="text-align: center;">5</p>	<p style="text-align: center;">7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 多様な考えに触れさせるために、道徳ノートに書いたものを撮影し、ロイロノートで共有させる。 ☆ 広い心で相手を受け入れるには、自他の思いや考えの相違を乗り越え、相手と相互に理解しようとする態度が大切だということが分かったか。【ノート・発言】 ○ 相互に理解し合うことで、よりよい成果が生まれた教師の体験談を聞かせ、謙虚に広い心で相手を受け入れようという意識を高める。 <p style="text-align: center;">3</p>

(4) 評価

- ア 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができたか。
- イ 今まで受け入れられなかった相手の考えや行動を理解し、相手の思いやよさに気付くことができたか。
- ウ 広い心で相手を受け入れるには、自他の思いや考えの相違を乗り越え、相手と相互に理解しようとする態度が大切だということが分かったか。

(5) 板書計画

2/2 (木) 第30回 「広く受け入れる心」

④ A 自分の意見をゆずらない方がよい。
B 全て相手の言うとおりにすればよい。

⑤ 自分と意見や考えが合わない人の考えを受け入れるには、どのような考えが大切だろうか。

P142
⑦P31 「ブランコ乗りとピエロ」

初日 サークスの初日は大成功で幕を閉じた。

挿絵 (サムを見上げていたピエロ)

消えない

- 自分勝手。
- 許せない。
- 自分も見せたかった。

いかり見下し

消えた

サムのがんばりを知った。
自分にも立ちたい気持ち。
気持ちを考えて悪者にした。
サムを見習いたい。
サムのよさを生かしよりよいサーカス団にしたい。

いかり

協力 尊敬 努力

最終日 サークスは大成功で幕を閉じた。

挿絵 (サムと握手するピエロ)

⑥ 相手のことを知ろうとすること
相手のよさを見つけること
• たがいのよさを生かすことでよりよいものが生まれるということ
• 自分の考えを優しく伝えること

⑦ 勝